

黒空 KONG

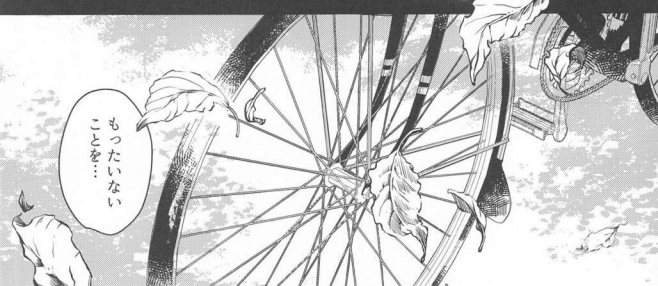
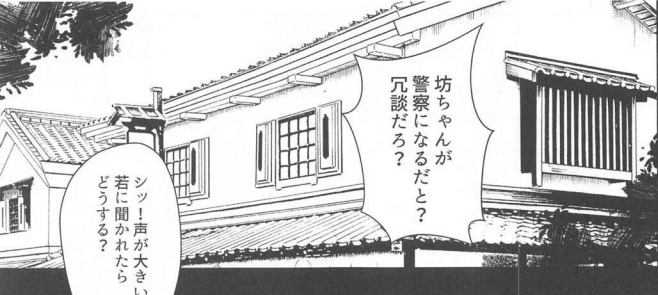
Presented
by
HEIKONG







- ・転生パロ幻想軸/ヤクザ実x警察玄
- ・原作ネタ&捏造有り、ご注意下さい
- ・流血表現有り



ヤクザに相應しい顔を
お持ちだというのに



カチャ...





こうなったのは
13歳のある日
のこと



本家ではそんな言葉が
日常的だった



衝突の瞬間

飛び散ったガラスで
俺と兄貴は傷を負い

俺がさらわれ
兄貴が組の仲間を連れ
助けに来てくれた

俺は不意に前世の
記憶を思い出した。



また兄ちゃんの
そばにいられるんだ

よかった！

その日、前世の記憶を
思い出したのは
俺だけのようだった





兄貴も記憶とは
少し違っていて、
顔の傷跡が少なかった

もしかして傷跡の
せいなのか？



兄貴の傷跡が
過去と同じ数
になったら

兄貴は前世のことを
思い出すんじゃないか…



今世では
ヤクザの家に
生まれ



兄貴は小さい頃から
跡継ぎとして
育てられた
組の期待を一身に受け



兄貴もまた
みんなの期待に
応えてきた





それに不満はないし
俺はそんな兄貴を
誇りに思ってるけど



内心では兄貴が
前世のことを
思い出さないかと
願わずにいらなかった

けれどこの思いが
強くなればなるほど
刃で突き刺されるような
痛みを感じるようになった

兄貴の傷の大半は
俺のせいによるものだ

回を重ねるごとに
命に関わってくる

日に日に増える兄貴の
傷跡を目の当たりにし

兄ちゃん！

実弥！



このまま思い出さない方が
いいと思うようになった



警察になり

先輩
お先です

ヤクザの家族と
別々の道を
歩むことで

おう!
お疲れ!



兄ちゃんとの距離は
遠くなつていくだろう

これでいい

兄ちゃんには
もうこれ以上





痛みを背負って
ほしくはないから……

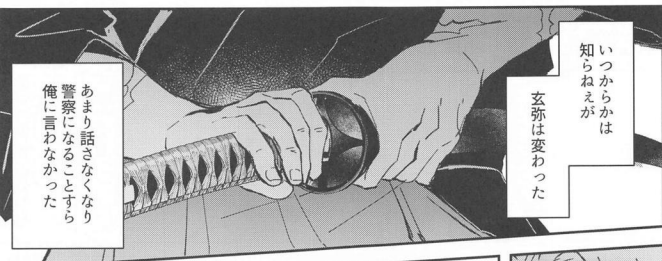
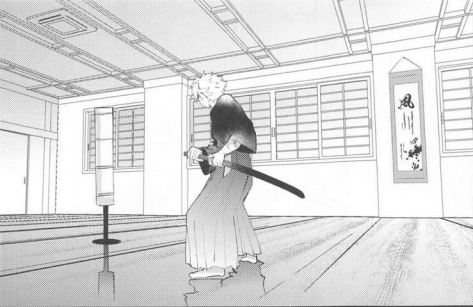






前世だって
こうだっただろ？







…別に
今日は調子が
出ねえだけだ



…匡近

ほらよ

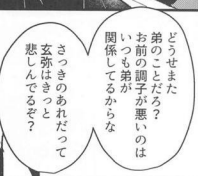


心配事でも
あるのか？



えー
誰かの
冷たい

……



さっきのあれだって
玄弥はきっと
悲しんでるぞ？

どうせまた
弟のことだろう？
お前の調子が悪いのは
いつも弟が
関係してるからな



そういや組の中は
玄弥の話題で
もちきりだな！

組長も相当
お怒りだし！

ハッ！
あのクソ親父のことは
どうでもいいんだよ！



…うるせえ！

あいつはもう警察なんだ
サツとヤクザが仲良く
やってたらあいつの
名誉に関わるだろう？







驚いたんだろう
トラウマに
なってるのかも
しれないし

あの事件が
きっかけで
警察になろうと
思ったのかもな



何かに怯えた
みたいに俺を
つかんで



あいつあの時
一瞬ハツとして

兄ちゃんって
大声で泣き
出したんだ



あり得るな
だとしたら
玄弥が組を
離れたのは
完全に俺のせいだ

俺はあいつを
守ってやれ
なかった…

守ってやれなかった
俺はまた
あいつを…



また…？

前にも
こんなことが
あったような…





んっ...

ああ!



今日は組の大事な会議
この日、兄貴はほとんど
帰ってこない

うんっ…

にいちちゃん…

毎月のこの時間
だけ、俺は

兄ちゃんに
抱かれる自分を想像する。

キスしたい

撫でられたい



兄ちゃんなら
何されてもいい♡

優しく
抱かれるのも♡

乱暴に
犯されるのも…

兄ちゃんなら
どっちでもいい♡



にいちゃん♡
あ♡

にいちゃん♡

ビクッ



この感情は
永遠に打ち明け
られない

前世でも
今世でも

これでいいんだ…

記憶も
この感情も

墓場まで
また持って
行けばいい

もうすぐここ
ともお別れか…

その前に兄ちゃんの
シャツ何枚か持って
いけないかな

ははっ…
変態じゃん

なに
してんだ？



なんで…

ビクッ

なんで…
あ…兄貴…
どうして？

今日は会議の
はずじゃ？

いつから
見られてた？

これは…
いや…その…

そのシャツ…

兄貴…俺…

終わった
合わせる
顔がない

気持ち悪いって
思ってたじゃ…

嫌だ…
こんな
終わり方…

俺！

嫌われたくない
嫌だ！嫌だ！



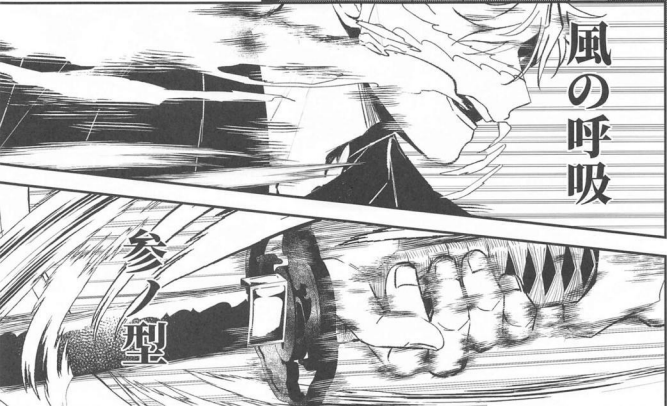
玄弥
しばらく道場に
来ないだろ

ちよつと
付き合え

お前に
話がある









晴嵐風樹





よろ

兄貴
まさか…

初めて刀を
握った時から
俺はこの技を
知っていた



おかげで俺は
この組で確固たる
地位を築けた

自分でも不思議だが
生まれつき記憶に
刻まれてるみてえに
普通じゃねえ

五年前の
あの事件から
お前は何も
言わなくなった

なんでかは知らねえが
お前が隠してることに
絶対関係あるって
ことは分かってんだ！

あの日の
お前の声、お前の叫び…

なんでこんなに
胸が張り裂けそう
になるんだよ



もう隠すな！

言え！

今日こそは
半殺しにしても
本当のことを
言わせてやる！

わ…
分かったよ

兄貴！
言うから！

おかしな
話だけど…
実は…

鬼のこと
鬼殺隊のこと

なぜ俺たちは鬼を狩り
なぜ俺たちは別れ
なぜ死に別れたのか

兄ちゃんには
謝っても謝り切れない
と思ってること…

俺が知ってる
前世の記憶も
全部話した



本当にそれで
思い出せるかは…

あ！うん！
でもこれは俺の
憶測だから！



額にある
傷のこと
そして俺の
憶測も…

…それは
その時と比べて
傷跡が一つ少ない
ってことか？



兄貴はそんなこと
思い出さなかったって
いいから

俺は兄貴の弟で
いられるだけで
十分うれしい



フ、ハハハ…
なんだ

そいつは手っ取り
早えじゃねえか？

スッ？

兄貴？



兄ちゃんッ!!



それでこの心の靄が
晴れるなら

何度でもやってやる！



あう…
あう…







——兄ちゃんが必ず
守ってやるからな



こいつが上弦に遭遇し
けがを負った
知らせを聞いて

俺は心底動揺し
居ても立っても
いられず駆けつけた

なんでだ？

グッ

なんで
鬼殺隊なんかに入っただろ

なんで上弦に遭うのは
いつもお前で
俺じゃないんだ



うわあああ
あああ！

どうなってる！
畜生ッ！

何で鬼みたいに
体が崩れる
ああああ！！

兄…

ちゃん…

大丈夫だ!!
何とかしてやる！

兄ちゃんが
どうかしてやる！

兄…ちゃん…
ご…めん……

死ぬな！

死ぬな！

ごめんなんて

言うな！！

俺より先に
死ぬんじゃねえ！！

言うなッ！

なにも
守れなかった

守れてねえ
だろうが！！
馬鹿野郎！！

善良なやつがなんて

最後まで生きられねえんだ！

頼む神様！

どうか！
弟を連れて
行かないでくれ！

お願いだ！

お願いだ！

俺にはもう
何もないんだ――

ありがとう…

兄ちゃん…

兄ちゃん…

兄ちゃん！





今度は
絶対…！

今度は
絶対に…！

離したり
しねえ！

兄貴待つて！
落ち着いて！

今度はきっと
守ってやる！
もう二度と
離すもんか！

…玄弥

ごめんな

…兄ちゃんまた
お前を守れなかったな

ごめんな…

うっ…

うっ…



お前に幸せになって
ほしくて
ずっと避けてたこと…



お前とちゃんと
向き合わ
なかったこと
許してくれ…



…兄貴
謝らないで

…俺のほうこそ

…俺も兄ちゃんを
守りたくて
兄ちゃんに
生きてほしくて…



ごめんよ…
兄ちゃんの気持ちに
気づけなくて

でも俺はやっぱり
兄ちゃんの
そばにいたい

俺の幸せは
兄ちゃんだから！



兄ちゃんがない日々は
つらくて

さみしくて



強がって
壁を作って

弱い自分を
見せないようにしてた



だから…
兄ちゃんが俺を
嫌いでもいい

今世は…
兄ちゃんのおそばに
いてもいい？



バカ

そんなの
当たり前だろ？











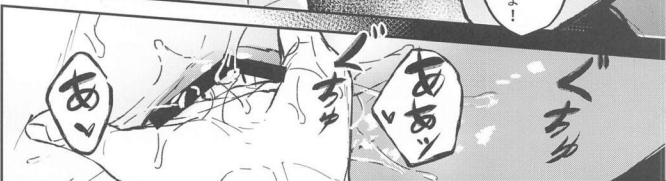




安心しろ
優しくするから



















気持ちいいか？

うん♡
きもちい♡

ちゅ♡

ちゅ♡



俺がいいか



ん？！あ
あ？

ちゅ

ちゅ



いつもどんな
想像して
兄ちゃんとしてた？



それとも
頭の中の俺が
いいか？

玄弥
おめえ
かわいすぎんぞ！

ぐちゃ

いっしょ
いっしょ

いっしょ

ああ

そだめ♡
したらい♡
♡

ぐちゃ

ばちゃ

思いっきり
イケよ

ばちゃ

ん

ああ♡

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

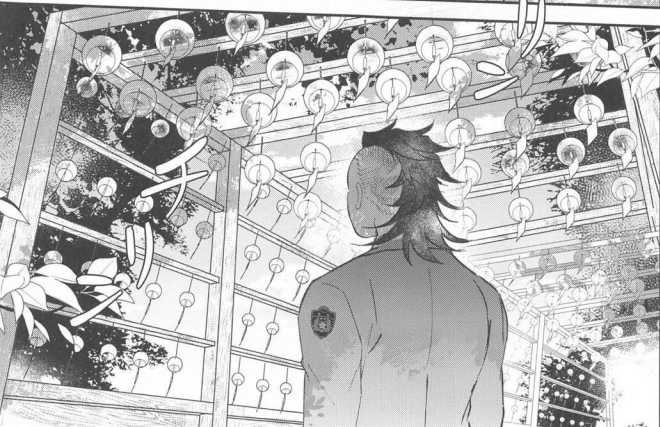
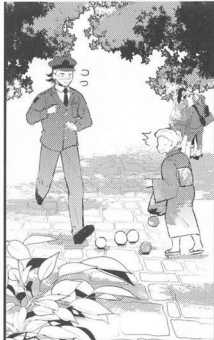
わろ

わろ

にいちん♡
もろ♡

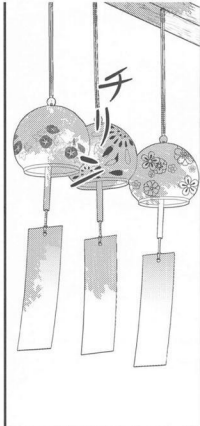








今年の風鈴祭りも
相変わらず
にぎやかだなア





別にいいだろ
たまには休めよ

騒がしい鈴の音
から離れて



あの……これ……
公務執行妨害です



こうして
風鈴の音に
耳を傾けるのも
なかなかいいよ

風の音が耳元で
ささやいてるみたいで

俺は好きだな……





…それ
告白してんのか？

違うよ…
兄ちゃんのバカ…

初めましてorお久しぶりです、黒空です

半年の月日を経て、ようやく完成しました!! こんなにも長く作画するのは久しぶりで、描いていてふと人生に疑問を感じたりもしました・*・(ノA`)

本来この本が第一冊目の実玄本だったのですが、80ページという膨大なページ数に向き合えず、加えてコロナ禍もあり、不安要素が多すぎてなかなか踏み切れずにいました。半年間考えた末、やはりこのお話に込めた考えを皆さんに見ていただきたいと思い、描くことにしました。

前作が玄弥の可愛さなら、今作はお兄ちゃんの優しさといったところでしょうか! 実弥の玄弥への優しさはいつも見えないところにあり、私はそんなところが好きで、切なくも感じるのです。兄も弟も、二人が互いのために想い黙っている間、心はいつも泣いているような気がして、それでタイトルを《心泣》にしました。中国語も日本語もちょうど漢字の意味は同じであり、異なる言語の人たちが同じ感情を抱くことができる、とても素晴らしい言葉だと思いました。公開した時は、皆さんめっちゃくちゃシリアスなお話だと思われたかもしれませんがXDD
心泣ことは悲しいことかもしれませんが、泣くといっても色々あり、喜び極まり泣くことだってあるのです! たくさんの苦難を経験した兄弟が、最後に抱き合い笑いながら泣けますように。どうかもう離れませんように。心が痛いQQQ

今回も日本語の翻訳を手伝ってくださったすもも太太に感謝いたします。日本語になった自分の作品を見るのは何とも言えない恥ずかしさがありますXDそして私に付き添い、励ましてくれた親友たち、この本をお買い上げくださったあなたに感謝いたします♥

皆さんに気に入っていただけますように。またしゃべりすぎてしまいましたXD

ご縁がありましたら、また次回お会いいたしましょう

2021/8/28 黒空/HEIKONG

Seikong
2021

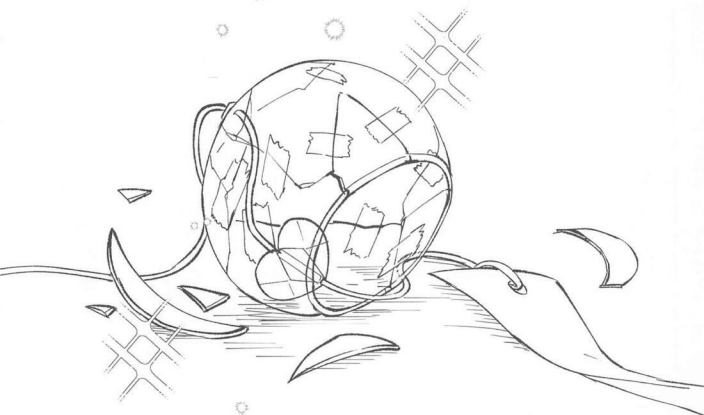
メッセージ大歓迎です～



匿名感想フォーム



マシュマロ



心
うら
泣
なく

発行 黒空KONG

印刷 栄光 様

連絡 leaf10250930@gmail.com

📷 [leaf10250930](#)

🐦 [Heikong_](#)

📺 [leaf10250930](#)

🎧 黒空KONG

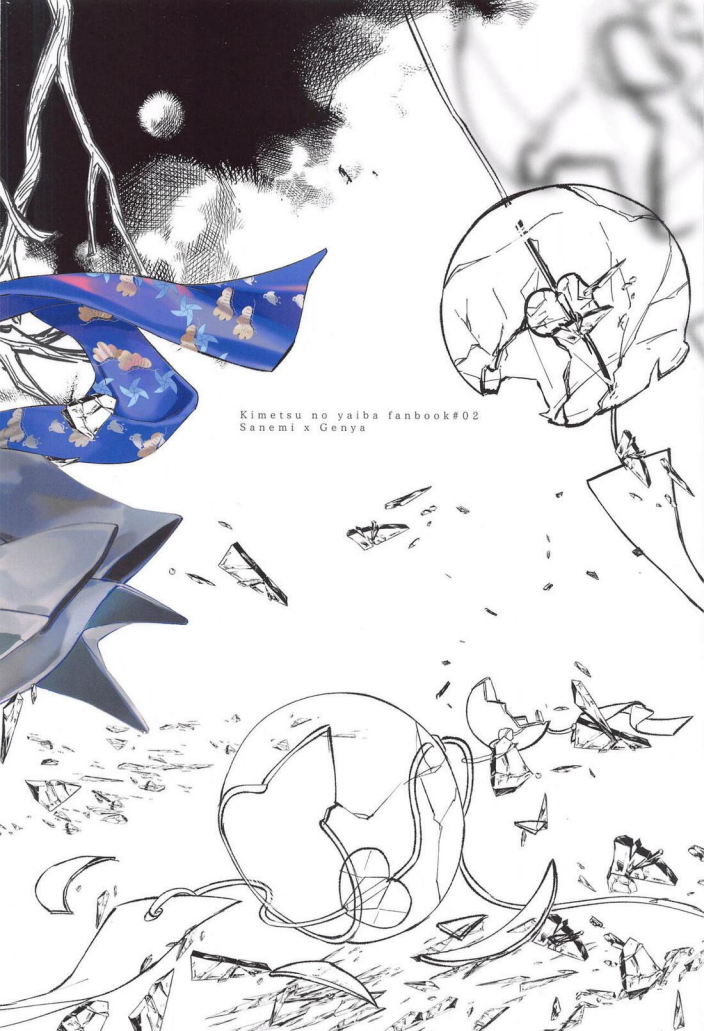
📌 [Heikongkong](#)

📞 3277487

Unauthorized transferring upload will be punished.

本書所有圖片禁止轉載・複製・掃描二次上傳

無斷轉載・二次加工・配布・自作發售等は禁止です



Kimetsu no yaiba fanbook#02
Sanemi x Genya